

2008年7月31日
郵便事業株式会社
信越支社
郵便局株式会社
信越支社

小型記念通信日付印の使用

郵便事業株式会社信越支社（支社長 園田 健二）及び郵便局株式会社信越支社（支社長 島田 美津夫）では、平成20年9月1日（月）から発売されるふるさと切手「ふるさと心の風景 第2集」の発行を記念して、下記のとおり小型記念通信日付印を使用します。

なお、このふるさと切手は、長野県諏訪市出身の著名な風景画家・原田泰治氏の作品を原画としています。

1 小型記念通信日付印の内容

支店・郵便局	郵便事業株式会社 長野支店、諏訪支店 郵便局株式会社 長野中央郵便局、諏訪郵便局
印影	
記念事項	ふるさと切手「ふるさと心の風景 第2集」発行
県別	長野
使用期間	平成20年9月1日（月）から同年9月30日（火）
開設場所	郵便事業株式会社 ゆうゆう窓口（9時から19時まで） 郵便局株式会社 郵便窓口（窓口開設時間）

※ 使用する日付印の押印見本については、それぞれの使用支店（局）名及び日付に読み替えます。

※ 郵便局で使用する日付印には、年活字の下に線が入ります。

2 その他

(1) 小型記念通信日付印使用支店・郵便局の選定理由

郵趣対応指定支店（局）である郵便事業株式会社の長野支店と郵便局株式会社の長野中央郵便局、及び原画作者の出身地である諏訪市に所在する郵便事業株式会社の諏訪支店と郵便局株式会社の諏訪郵便局の合計4箇所を選びました。

(2) ふるさと切手「ふるさと心の風景 第2集」について

郵便事業株式会社の「お知らせ」（7月24日）をご覧ください。

http://www.post.japanpost.jp/whats_new/index.html

(3) この切手の原画作者・原田泰治氏について

- ・昭和 15 年 4 月 29 日、長野県諏訪市に生まれる。
- ・武蔵野美術短期大学を卒業後、グラフィックデザイナーとして活躍する傍ら、少年時代を過ごした長野県伊賀良村（現在、飯田市）をモチーフにした絵を描き始める。昭和 57 年から朝日新聞日曜版で、「原田泰治の世界」を連載。画家としての世界観を確立し、アメリカでの個展を実現、平成 9 年には長野冬季オリンピック競技大会芸術祭にも参加した。平成 10 年「諏訪市原田泰治美術館」開館。精力的に全国を取材して回り、古きよき日本の情景を作品に残している。

詳細については、原田泰治氏のオフィシャルホームページ「鳥の目虫の目くらぶ」(<http://www.torinome.net/>) をご覧ください。

以 上

【お問い合わせ先】

郵便事業株式会社

信越支社 総務部（担当 竹重、関川）

電話：（直通）026-231-2301

（FAX）026-237-2836